



アメリカ教育学会 第37回大会プログラム

Japan Association of American Educational Studies

The 37th Annual Conference

日時：2025年10月25日（土）

場所：日本大学理工学部

主催：アメリカ教育学会

大会ホームページ：<https://jaaes37th.com/>

大会連絡先：jaaes2025NUcst@gmail.com

【大会日程】

2025年10月24日（金）理事会 ※理事に別途連絡致します。

2025年10月25日（土）第37回学会大会

タイムスケジュール

9：30～	大会受付 タワースコラ4階
10：00～12：20	自由研究発表Ⅰ（タワースコラ4階S404教室） 自由研究発表Ⅱ（タワースコラ4階S402教室） 自由研究発表Ⅲ（タワースコラ4階S306教室）
12：20～13：10	昼食休憩 ＊シンポジウム関係者打ち合わせ（3階S306教室）
13：10～14：00	総会 ＊ハイフレックス（Zoom）
14：15～16：45	公開シンポジウム（タワースコラ4階S404教室） ＊ハイフレックス（Zoom）
17：00～18：00	情報交換会（タワースコラS1201教室）

【大会参加要領】

1. Peatixでの参加申し込みのお願い

- ・大会参加・情報交換会への参加予定の方は、10月19日（日）までにPeatixを使用して参加申し込みとともに大会参加費の支払いをお願いします。
➡<https://jaaes2025.peatix.com/view>
- ・参加申し込みをされた方に、大会の数日前に発表要旨集（PDF版）のダウンロードについて、メールおよびPeatixにて連絡します。
- ・総会及びシンポジウムのZoom情報については、発表要旨集と学会メーリングリスト（メール）にてお知らせします。
- ・当日参加、お支払いも可能ですが、できるだけ事前申し込みをお願い致します。

2. 受付

- ・10月25日（土）9：30 から タワースコラ4階S404教室前で行います。階段かエレベーターにて4階にお越しください。

3. 大会参加費（『発表要旨集』代を含む）

- ・一般会員・臨時会員：2,000 円
- ・学生（大学院生含む）会員：1,000円

4. 情報交換会

- ・参加費：1,500 円（税込） ※会場にてお支払いをお願い致します。
- ・軽食のみです。アルコール類は提供しません。

5. 学会費（大会受付とは別に、学会の臨時受付機を設置します）

- ・会員で会費未納の方は、年会費（正会員 6,000 円、学生会員 5,000 円〔不課税〕）を納めてください。
- ・当日、新規入会をご希望の方は、入会申込書にご記入のうえ、入会金 1,000 円（不課税）を添えてお申し込みください。

6. 昼食

- ・御茶ノ水駅近くに飲食店がございますので、そちらをご利用ください。

7. インターネット接続

- ・会場でのインターネット接続は、eduroamを使用できます。御自身の御所属先の手続きに従ってご使用ください。大会準備委員会では、eduroam接続等のテクニカルな対応は致しかねます。
- ・eduroamのアカウントをご使用になれない場合は、受付にてeduroamの臨時アカウントをお知らせいたします。受付にてお申し付けください。

【自由研究発表要領】

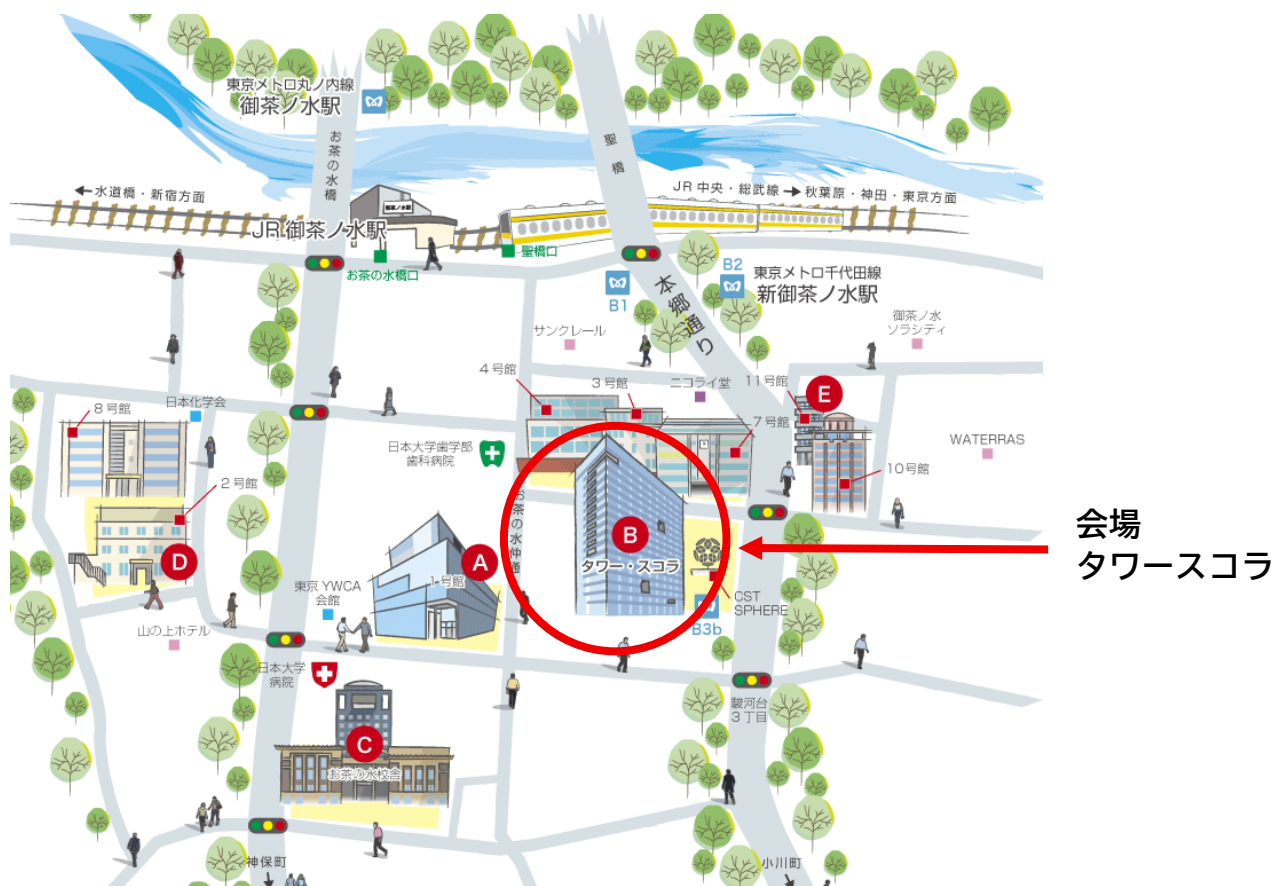
- ・発表時間：発表 20 分・質疑 5 分（計 25 分）
- ・発表に必要な資料は、各自 25 部ご用意いただき、大会当日にご持参ください。
- ・発表会場には、プロジェクター、スクリーン／モニターが常設されています。
- ・PCはご自身のPCをお持ちください。
- ・接続端子はHDMI [（タイプAコネクタ）] となります。必要なコネクタを各自で御準備ください。
- ・会場での印刷および、会場への資料の送付はお引き受けいたしかねますので、ご了承ください。

【会場へのアクセス】

住所：〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台3-1-2 日本大学理工学部タワースコラ
 JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 「聖橋口」改札、下車徒歩3分、
 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分



【キャンパスマップ】



日本大学理工学部ウェブサイト：

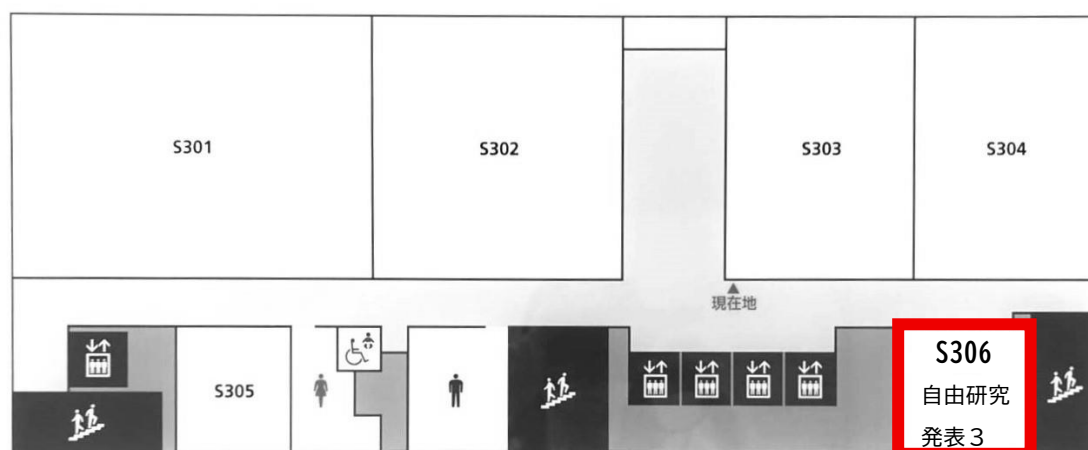
アクセス・駿河台キャンパス <https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/>

【会場フロアマップ：タワースコラ】

《タワースコラ 1 階》



《タワースコラ3階》



《タワースコラ4階》



自由研究発表 I

10 月 25 日（土）10：00 ～ 12：00 タワースコラS404教室

【司会】湯藤 定宗（玉川大学）・長嶺 宏作（埼玉大学）

10：00 ～ 10：25

○寶來 敬章（常葉大学）

チャータースクールの歴史的・制度的変遷 ―再評価に向けた動向

10：25 ～ 10：50

○佐々木 司（山口大学）

「エンリッチメント・ベンダー」から見るチャータースクールに対する規制強化

10：50 ～ 11：15

○川上 大貴（中央大学大学院法学研究科・大学院生）

アメリカの私立学校制度の現状 ―設置認可制度を中心に―

11：15 ～ 11：40

○川村 真理（文部科学省科学技術・学術政策研究所）

第2次トランプ政権における高等教育政策

11：40～12：00

全体討議

自由研究発表 II

10 月 25 日（土）10：00 ～ 12：20 タワースコラS402教室

【司会】松下 晴彦（花園大学）・澤田 稔（上智大学）

10：00 ～ 10：25

○清水 広平（北海道大学・大学院）

社会正義を志向する教師教育におけるCritical Professional Developmentの理論的検討
—批判的教育学の見地から—

10：25 ～ 10：50 ➡発表取り消し

○渡部 裕哉（東京大学大学院・大学院生）

アイラ・ショアの批判的リテラシー論におけるデューイの民主主義教育論の影響

10：50 ～ 11：15

○眞所 佳代（横浜商業高等学校）

米国における「生徒の声」研究

11：15 ～ 11：40

○木原 友紀（東京大学・大学院生）

米国国立科学財団の女性研究者支援 —歴史と政策論理に着目して—

11：40 ～ 12：05

○岡本 洋之（兵庫大学）

「日本人はモンゴリアンでない」という論の再発の陰には、白人有識者の支援があったのではないか—1893年にサンフランシスコ市が日本人学童隔離を断念するまで—

12：05～12：20

全体討議

自由研究発表 Ⅲ

10月25日（土）10：00～12：00 タワースコラS306教室

【司会】片山 紀子（京都教育大学）・倉本 哲男（静岡芸術大学）

10：00～10：25

○池田 美穂（千葉大学大学院・大学院生）

ファーストジェネレーション学生に対する支援の現状と課題
ワシントン大学タコマキャンパスの事例から

10：25～10：50

○西 徳宏（宝塚大学）

トランプ政権の誕生は移民の子どもたちの学びに何をもたらしたか
—カリフォルニア州における移民集住地域の小学校の事例から

10：50～11：15

○市川 享子（東海大学）

アメリカにおけるサービス・ラーニングの歴史に関する研究
—1970年から1990年代までの分析

11：15～11：40

○三村 隆男（早稲田大学）

ASCA国家モデル第5版と生徒指導提要（改訂版）

11：40～12：00

全体討議

アメリカ教育学会第37回大会 公開シンポジウム

会場：日本大学理工学部 タワースコラ S404 教室
日時：2025年10月25日（土）14時15分から16時45分

米国における教師をめぐる問題とインターセクショナリティ

ー教師の多様性・女性管理職・教員養成に着目してー

【趣旨】

本シンポジウムでは、教師・女性管理職・教員志願者に着目して、インターセクショナリティの視点から、米国の教師をめぐる課題や状況について考えてみたい。インターセクショナリティは「交差性」を表わし、アメリカのブラック・フェミニズムの流れのなかで生まれた概念である。新しい概念ではないが、人種・エスニシティ・ジェンダー・セクシュアリティ・階級、年齢などのさまざまな領域が、相互に関連し、交差する権力関係がどのように影響を及ぼすのかについて分析するための概念として着目されている。

今回、教師の多様性、女性管理職のリーダーシップ、教員志願者支援について、それぞれの課題を検討しつつ、インターセクショナリティという視点で考えてみたい。米国の教師や学校管理職や教員志願者支援について検討することで、日本の教員の課題についても議論が広がればと考えている。

報告者

太田 知実（明治大学）：教員志願者支援の視点から

八尾坂 修（玉川大学・九州大学名誉教授）

：米国の女性管理職研究とリーダーシップの視点から

黒田 友紀（日本大学）：米国の教師の多様性と不均衡の視点から

指定討論者

星野 真澄（明治学院大学）

司 会

木場 裕紀（東京電機大学）

第二次世界大戦後の
アメリカ高等教育
アメリカ高等教育史
American
Higher Education
since World War II:
A History
著者 R・L・ガイガー
訳者 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄
訳者 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄

第二次世界大戦後のアメリカ高等教育(II)

—アメリカ高等教育史II

R・L・ガイガー著 原圭寛他訳

A5・528頁・7040円

第二次大戦後の冷戦構造下、ソ連の先進性に衝撃を受けたアメリカは様々な改革を迫られ、更なる進化を遂げた。I巻、II巻合わせてアメリカ高等教育の400年間の制度と社会を俯瞰できる壮大で比類なき通史。全巻のゆれた用語を統一し、I巻『アメリカ高等教育史』の索引も同時収録。

ミネルバ大学を
解剖する
The Anatomy of Minerva University
著者 松下佳代
田中孝平・石田智恵・高田幸典・大野真知子
松本隆雄・高田幸典・高田幸典

ミネルバ大学を解剖する

松下佳代編著

A5・328頁・3520円

世界の大学教育の常識を覆したミネルバ大学。その教育実践を3年に及ぶ学生や職員等へのインタビュー、訪問調査を通じて精緻に描き出す。世界に必須の汎用能力の育成を掲げるミネルバ・モデルは成功したのか。前訳書『ミネルバ大学の設計書』にあるミネルバ・モデルを実際に検証した労作。

アメリカ高等教育史
その成立から第二次世界大戦までの学術と文化
The History of American
Higher Education:
Learning and Culture
from the Founding to World War II
著者 R・L・ガイガー
訳者 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄
訳者 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄 松本 隆雄

アメリカ高等教育史

R・L・ガイガー著 原圭寛他訳

A5・744頁・9460円

17世紀のカレッジ創設から米国の高等教育は始まった。宗教戦争から科学技術の発展、世界大戦を経る中、様々な事件とその改革を展開。その豊かな歴史を創設期から統一した用語で丁寧に通った待望の訳書！

ミネルバ大学の設計書

S・M・コリン、バートン・ネルソン編著

松下佳代監訳 A5・528頁・5720円

ミネルバ大学は国際的なリーダーを発掘育成のために創られた世界初の校舎のないオンライン大学である。本書は大学創立の哲学とカリキュラム、大学運営等、大学教育の全てを網羅した創立者が書いた大著の邦訳。

ミネルバ大学の
設計書
Building the International University:
Minerva and the Future of Higher Education
著者 スティーヴン・M・コリン
バートン・ネルソン
監訳 松下佳代
新たな教育モデルを創り上げた
ミネルバ大学の全貌！

Negotiating the Complexities
of Qualitative Research in Higher Education:
Essential Elements and
Practical Applications
大学教育の
質的研究法
著者 S・R・ジョブズ、V・トルス、J・アムニオ
訳者 山田嘉徳・河井亨・新見有紀子
訳者 山田嘉徳・河井亨・新見有紀子

大学教育の質的研究法

S・R・ジョブズ、V・トルス、J・アムニオ著 山田嘉徳・河井亨・新見有紀子翻訳 A5・472頁・5280円

質的調査研究の土台となる諸理論、データの収集・分析手法を網羅的かつ丁寧に解説する。初学者に最適のテキストであるとともに、教育研究者が担う倫理的・社会的責務を改めて投げかけられた、教育研究に関わる関係者の必読の一冊。

アメリカの授業料と奨学金 研究の展開

小林雅之著

A5・520頁・6820円

多民族の中で教育機会を拡げ、高等教育機関が優秀海外留学生の受入によって世界一のアメリカを築く力となった。それを支えた大学の授業料と奨学金のメカニズムを紆余曲折を経た歴史を解明した実証的労作。

アメリカの授業料と
奨学金研究の展開
小林雅之著
奨学金は、教育の機会均等に
寄与しているのか？

福井文威著
米国の高等教育の
拡大する個人寄付
A5・210頁・3960円

坂本辰朗著
アメリカの大学の
豊かさのメカニズム
A5・214頁・3520円

久保園梓著
アメリカ大学史に
おける女性大学教員
支援政策
A5・214頁・3520円

古田雄一著
現代アメリカ
貧困地域の市民性
教育改革
A5・212頁・4620円

アメリカ社会科のインクルージョン 理念と方略

早瀬博典著 A5・272頁・4620円

米国で長年繰り広げられてきたマイノリティを包摂する社会的・教育的な試行錯誤は、今なお重要な示唆に富んでいる。インクルージョンの契機となった障がい児教育をめぐる醸成された理念と法制度やカリキュラムの分析から米国社会科の特質を紐解く。

アメリカ社会科の
インクルージョン理念と方略
早瀬博典著
人々にあまねく公正な社会を創り上げる
教育のあり方とは何か？

現代アメリカ教育 ハンドブック [第2版]

アメリカ教育学会編 A5・328頁・3960円

現代アメリカ教育を読み解くキーワードを約10年ぶりに改訂。「分野別目次」を新たに加え、新たな52項目を増補し、初版重要18項目に補筆を行い、項目別目次も加えた、全153項目のアメリカの教育ハンドブック。

現代アメリカ教育ハンドブック
HANDBOOK
OF
MODERN
AMERICAN
EDUCATION
アメリカ教育学会 編 (第2版)
Japan Association of
American Educational Studies

東信堂
直接注文
お問い合わせ

アマゾン

楽天
ブックス

丸善
淳久堂

東信堂

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-20-6
HP <http://www.toshindo-pub.com>
☎ 03-3818-5521 ☎ 03-3818-5514
✉ toshindo_onlineorder1985@gmail.com
✉ tk203444@fsinet.or.jp (代表)

* 博論書籍化、教科書等の出版相談は代表メールまで！

教員志望学生の不安や 悩みをどう理解するか

現代アメリカにおける支援実践から

太田知実 著

A5判 ● 208頁
定価3740円



教員志望学生の教職に対する不安や悩みが大きくなっている現在、教員養成では、どのように、彼らの不安や悩みを和らげつつ、かつ、良い教員として育てることができるのか。多文化教育を基盤とする、現代アメリカの動向を手がかりに、この問いに向き合う。教員志望学生、また、若手教員を育てる社会の在り方を問う。

現代アメリカにみる 「教師の効果」測定

学力テスト活用による伸長度評価の生成と功罪

西野倫世 著



子どもの成長・発達という「教育的価値」に照らしながら、現代アメリカにおける学力テスト結果を通じた「教師の効果」測定に関する理論的・実践的動向の統合的把握を試み、原理的な意義や課題を明らかにする。

A5判 ● 272頁/定価4950円

スクールティーチャー

教職の社会学的考察

ダン・ローティ 著

佐藤学 監訳/織田泰幸・黒田友紀・佐藤仁

榎景子・西野倫世 訳

「名著中の名著」をついに翻訳。現在にも通じる教師の直面している複雑な現実を明快に解明し、教職の未来への道筋を提示している。

A5判 ● 384頁/定価4400円



学校ガバナンス改革と 危機に立つ 「教職の専門性」

浜田博文 編著



教職の専門性が置かれている危機的状況の内実を解明し、これを再構築するための社会的装置のあり方を理論的・実証的に追究。アメリカの「教職の専門性」における社会正義、「優秀教員」資格認定の事例も。

A5判 ● 240頁/定価3850円

一人一台で授業をパワーアップ!

教育の質を飛躍的に向上させるICT活用実践ガイド

ダイアナ・ニービー・ジェン・ロバーツ 著

齊藤勝・白鳥信義・吉田新一郎 訳 ●定価2750円 248頁

アメリカの教師たちの、ICT活用の優れた授業実践を多数紹介する。

社会参画する大学と市民学習 アセスメントの原理と技法

S.ゲルモン、B.A.ホランド、A.ドリスコル、A.スプリング、S.ケリガン 著 ●定価2750円

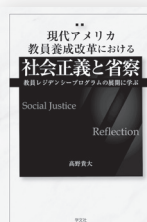
山田一隆 監訳/市川享子・齋藤百合子・福井里江・村上徹也・中原美香 訳 228頁

サービス・ラーニング等のアセスメントについて考えるハンドブック。

現代アメリカ教員養成改革に おける社会正義と省察

教員レジデンシープログラムの展開に学ぶ

高野貴大 著



多様化・多層化する、現代教育現場における課題。さまざまな背景をもつ子どもへの理解が求められるなか、社会正義を志向する教師とはどのように養成されるのか。多文化社会アメリカの事例からその方法を探る。

A5判 ● 260頁/定価5280円

現代アメリカ学校再編 政策と「地域再生」

学校統廃合か、地域と教育の刷新か

榎景子 著

アメリカ都市部において学校再編政策がいかに進められているのか「地域再生」との連関に焦点を当て、その特質と課題を解明。今後の日本の学校再編政策への示唆を得る貴重な研究をまとめた。

A5判 ● 284頁/定価5170円



アメリカの学校教育

教育思潮・制度・教師 (電子書籍)

四六判 ● 160頁/定価1980円

赤星晋作 著

改革を次々と実践し、挑戦的な革新が続いているアメリカの教育について、歴史的・制度的・思想的な背景と実態を具体的に挙げながら解説。

※電子書籍のご購入方法等、詳しくは右記QRコードから、もしくは弊社WEBサイトから検索。
(<https://www.gakubunsha.com/>)



批判的思考と道徳性を育む教室

「論争問題」がひらく共生への対話

ネル・ノディングス、ローリー・ブルックス 著

山辺恵理子 監訳/他訳 ●定価2970円 312頁

答えの出ない「論争問題」を授業でどう扱い、子どもたちと考えるか。



教育における女性リーダーシップ

J. ワイナー・M.C. ヒギンズ著 八尾坂 修・星野真澄・成松美枝訳 2970円
女性の教育リーダーに関する言説を問い直し、教育リーダーシップにおける女性の経験、ジェンダーバイアスおよびジェンダー化された人種差別の構造を学習・分析。

アメリカ教育長職の役割と職能開発

八尾坂 修編著 3300円
アメリカ教育長職の役割と職能開発を体系的に考察。教育長のリーダーとしての資質や能力を高めるために、今後の日本における教育長職能開発への示唆を提示する。

教育における指導ラウンド

E. A. シティ他著 八尾坂 修監訳 3080円
「指導ラウンドネットワーク」と呼ばれる新たな学びの方法を開発。「質の高い効果的な指導」についての共通認識を育み、組織的能力を高めるプロセスを紹介する。

アメリカ合衆国教員免許制度の研究

八尾坂 修著 14300円
アメリカ教員免許制度の基盤をなす免許資格構造要因に視点をあて、その成立と展開・発展過程、さらには現状と改革の方向について、実証的に論及したものである。

明治初期におけるアメリカ教育情報受容の研究

橋本 美保著 12650円
本書は、近代学制揺籃期におけるアメリカ教育情報受容の実態を斬新な視点から考証し、日本における草創期の教育学研究の特質を考察した実証的な研究である。

日本キャリア教育事始め

『日本キャリア教育事始め』編集委員会編 3300円
日本の学校教育に「キャリア教育」の概念が導入されて25年。この間に行政・研究・実践に携わった22名による論文集。キャリア教育の未来に向けた予祝の一冊である。

ウィネトカ・プランにおける教職大学院の成立過程

宮野 尚著 8250円
本書は、ウィネトカ公立学校の改革の中で、現職教師が主体となり教職大学院を創設していく過程を明らかにして、その意義を考察したものである。

米国社会科成立期におけるシティズンシップ教育の変容

斉藤仁一朗著 9900円
20世紀初頭の米国において、なぜ「社会科」が誕生したのか？市民育成を主目的に掲げる教科誕生の過程に注目し、「市民」を育てる教育が抱える包摂や排除の論理を描き出す。

米国公立学校教員評価制度に関する研究

藤村 祐子著 7700円
アメリカの教員評価制度について歴史的な変遷を踏まえた上で形成的機能に注目し、成立・展開過程、実施状況を解明した好著。

近代日本におけるプロジェクト・メソッドの受容

遠座 知恵著 9900円
わが国で大正新教育期に取り組まれたプロジェクト・メソッドの理論・実践研究の特質を、多様なアメリカ教育情報の成立とその受容の実態解明に基づいて考察した。

アメリカ教育学会第 37 回大会プログラム

2025 年 9 月 18 日発行

発行者：アメリカ教育学会第 37 回大会準備委員会

委員長：黒田 友紀（日本大学）

委 員：木場 裕紀（東京電機大学）

委 員：宮古 紀宏（国立教育政策研究所）

日本大学理工学部駿河台校舎

東京都千代田区駿河台 3 丁目 1 1-2

事務局メール：jaaes2025NUcst@gmail.com